

2020年1月22日

報道関係各位

e-Jan ネットワークス株式会社

e-Jan ネットワークス、工場ネットワークアクセスサービス

「NinjaConnect ISM」を提供開始

～IT と OT をセキュアに融合、サイバー犯罪から工場を保護～

テレワークプラットフォーム「CACHATTO®」(以下、CACHATTO)を開発・提供する e-Jan ネットワークス株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役：坂本史郎 / 以下、e-Jan ネットワークス)は、工場ネットワークアクセスサービス「NinjaConnect ISM」(ニンジャコネクト アイエスエム)を2020年2月3日より提供開始します。NinjaConnect ISMは、海外や地方拠点の工場内の設備(制御PC)をリモートでメンテナンスし、セキュリティおよび業務効率・生産性の向上を実現する新しいサービスです。e-Jan ネットワークスは、2022年度までに600工場への導入を図り、年間3億円の売り上げを目指します。

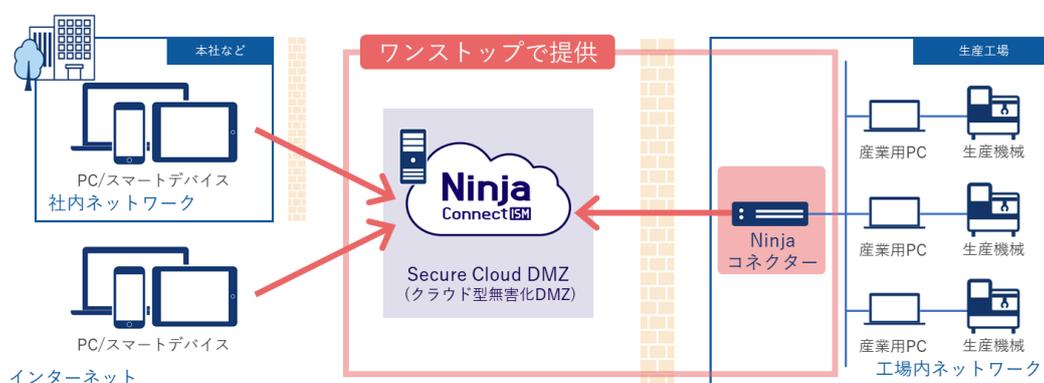
日本国内の工場には、生産設備と密につながった古いPCが多く存在しています。こうしたPCは、更新することで予期せぬ設備の停止を引き起こすリスクがあることから、長らくOSの更新やセキュリティパッチの適用を実施されないまま稼働しており、セキュリティ上、大きな課題となっています。また、工場のネットワークは本社と隔離されていることが多く、PCのログ収集やメンテナンスのたびにIT担当者が工場へ出張しなければならず、負担となっています。

e-Jan ネットワークスはこうした課題を受け、同社の主力製品CACHATTOで実績が豊富な、VPNを必要としない通信方式を採用した新サービスNinjaConnect ISMを開発しました。NinjaConnect ISMは、ネットワーク設定に大きな変更を加えることなく工場内に「Ninjaコネクター」を設置するだけで、工場内の制御PCにセキュアにリモートアクセスできることが大きな特長です。ユーザーは、あらゆる端末から専用のブラウザを通じて遠隔地の工場にアクセスし、セキュアな環境下で工場の制御システムの閲覧・操作、ログや機械設定のバックアップ、PCの更新などを行うことができます。これにより、出張費用や人件費も削減できるようになります。複雑で高価なシステムのオーダーメイドも不要なので低コストで導入でき、導入後も製品のバージョンアップやサポートが標準で提供されます。

インダストリー4.0の出現にともない、新しい技術は情報技術(IT)と制御・運用技術(OT)間のデータ量を画期的に増加させました。一方でこうしたITとOTの融合はセキュリティ上の課題もともないました。例えば、製造者はこれまで監視制御とデータ収集システム(SCADA)を中心に、リアルタイムな意思決定を行ってきましたが、こうしたシステムは一般的に、スマートファクトリーで期待されるような企業内におけるセキュアなデータ共有には対応できていません。NinjaConnect ISMはこうした課題に応える新サービスであり、米国立標準技術研究所(NIST)が提唱しているサイバーセキュリティフレームワーク(CSF)およびISO27001に準拠しています。

e-Jan ネットワークスでは本発表に先駆け、インドの Wipro Enterprises Private Limited に NinjaConnect ISM を導入しました。導入と活用に関する詳細は、末尾のエンドースメントをご参照ください。

■ NinjaConnect ISM の概要



概要イメージ

■ 製品サイト <https://www.ninjaconnect.com>

■ NinjaConnect ISM の主な機能

・ログファイルアクセス

工場内の制御 PC 上にあるログファイルなどをリモートで取得することができます。

・ソフトウェアの更新

Ninja コネクターに組み込まれている Windows RDP 機能により、工場内の制御 PC 上にあるソフトウェアや、クライアント OS の更新が可能です。

・データバックアップ

工場内制御 PC のファイルや情報を自動的にバックアップします。

■ 価格 月額 60,000 円(税別)

e-Jan ネットワークスは、マーケティング活動も積極的に展開して NinjaConnect ISM を市場に訴求していきます。その第一弾として以下の展示会に出展し、同新サービスを紹介する予定です。

第2回 ものづくり AI/IoT 展

会期：2020年2月26日(水)～28日(金) 10:00～18:00 (最終日のみ 17:00)

会場：幕張メッセ 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1

URL: <https://www.japan-mfg.jp/ja-jp/about/aiotex.html>

第 1 回 [名古屋] ものづくり AI/IoT 展

会期：2020 年 4 月 15 日(水) ～ 17 日(金) 10:00 ～ 18:00 (最終日のみ 17:00)

会場：ポートメッセなごや 愛知県名古屋市港区金城ふ頭 2-2

URL: <https://www.japan-mfg-nagoya.jp/ja-jp/about/aiotex.html>

■ e-Jan ネットワークス株式会社について

e-Jan ネットワークス株式会社は、東レ株式会社のベンチャー支援制度の第 1 号として 2000 年 3 月に設立されました。『テレワークにセキュリティを』を標榜し、テレワークプラットフォーム CACHATTO および関連製品の企画・開発・販売・運営を中心として事業を展開しております。

<会社情報>

代表者名： 代表取締役 坂本史郎

従業員数： 93 名 (2019 年 10 月 1 日現在)

URL： <https://www.e-jan.co.jp/>

※CACHATTO および NinjaConnect は、e-Jan ネットワークス株式会社の登録商標です。

※その他、本リリースに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ISM : Industrial Security Management の略称。

Wipro Enterprises Private Limited からのエンドースメント

NinjaConnect ISM の導入と活用について、Wipro Enterprises Private Limited のグループ CIO Balaaditya Kasarabada 様より以下の通りコメントをいただいております。

NinjaConnect ISM を導入した経緯

従来の IT 管理は、工場以外（例えば、本社の営業管理や経営管理等）のシステムに焦点が当てられていました。しかしながら、インダストリー4.0、機器データの分析、予知保全、製造現場の IoT 化に代表されるように、工場内の機器が進化するにつれて、工場内ネットワークにおけるサイバー上の脅威は確実に高まっています。このような時代の変化に対応するために工場内のネットワークにも注意を向ける必要があったことから NinjaConnect ISM を導入いたしました。

NinjaConnect ISM の利用シーン

製造現場におけるリスクマネジメントの一環として、マニュアル・オーバーライド（キルスイッチ方法）や BCP 対策の手段として利用しています。具体的には、リモートアクセス、機器データおよび設定情報のバックアップ機能を活用しています。また、より広い視点で見ると、「1. 機器レベル」「2. 接続段階レベル」「3. 生産過程レベル」「4. 情報システム（IT/産業制御システム）レベル」における各プロセスにおいて、今後は利用されていくでしょう。

NinjaConnect ISM の導入メリット

1. ソース、デスティネーション、intent、アイデンティフィケーションを明確にしており、洗練された通信ネットワークであること。
2. 適切にセグメンテーションに分けて、マシンを個別に管理できること。
3. 現場機器へのトラブル対応とメンテナンスの際に、セキュアに接続できること。
4. 産業用ファイアウォール、プロトコル、ポートや特定の SOP に対するポリシーを設定できること。

総括

NinjaConnect ISM を実際に利用することで、「1. e-Jan ネットワークスの導入チームが高い技術力をもっていること」、「2. 同社には思慮に富んだリーダーシップがあること」、「3. 前途有望な製品であること」がわかりました。

我々は「組織の 3 つの IP を保護する」必要があります。3 つの IP とは、「Industrial Productivity（工場の生産性）」、「Intellectual Property（知的財産）」、「Institutional Practices（制度慣行）」を指しています。

NinjaConnect ISM では以下を通じて、3 つの IP を保護してくれます。

- ・ネットワーク管理の世界で大変重要であり、最優先にすべき事項である工場ネットワークをほかのネットワークと隔離してくれること。
- ・工場ネットワークの各部分を分析して重要な部分をマークアップし、産業用制御システム（ICS）のどの部分がセキュリティ上重要であるかを定義することにより、工場のメンテナンスチームの生産性の向上に寄与していること。
- ・ゼロトラストポリシーを採用し、変更をよりシンプルに行えること。
- ・製造現場のネットワークセキュリティ上の脆弱性を最小限に抑え、悪意のあるサイバー攻撃等から、3 つの IP を保護することで、他社との差別化を維持することに NinjaConnect ISM が貢献していること。

- ※2 マニュアル・オーバーライド：機器動作を自動から手動に切り替える機能
- ※3 キルスイッチ：電源供給を遮断するためのスイッチ
- ※4 デスティネーション：伝送するデータの一部として記載された宛先
- ※5 インテント：アプリケーションソフト間やソフト内の機能間を繋げる仕組みのこと
- ※6 アイデンティフィケーション：システム利用者を識別する際に用いられる符号。IDと呼ばれる
- ※7 SOP：Same-Origin Policy の略。ある Web ページのスクリプト等から別サーバーに接続を行い、データの送受信を禁じる制限のこと